

報道資料

日時 平成28年12月 1日(木)
担当課 人権・地域教育課地域教育係
担当者 社会教育主事 中島 憲作
指導主事 津浦 和久
連絡先 0742-27-9837(ダイヤルイン)
内線 5284

学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの豊かな学びを創造！ ～「地域学校協働活動」に文部科学大臣表彰～

文部科学省では、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が協働し、子どもたちの教育活動を推進する活動に対し、文部科学大臣表彰を行っています。

本年度、県教育委員会からは、下記の団体を推薦し、表彰が決定しました。

1 被表彰団体と主な受賞理由

被表彰団体	主な受賞理由
平和小学校 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">○公民館と連携した取組を展開<ul style="list-style-type: none">・3年生は水彩画クラブ、4年生は書道クラブ、5、6年生は三味線クラブの方々に指導いただくことにより、学習が深まると共に、クラブの方と子どもたちのつながりが強固になった。○地域の様々な団体が学校と協働して、教育活動を展開<ul style="list-style-type: none">・昭和5年から続く「語り部童話会」、JAの青年部との農業体験、幼稚園との幼小交流など、地域の教育資源を発掘・活用している。
五條小学校 コミュニティ 協議会	<ul style="list-style-type: none">○児童が発案した学校オリジナルキャラクター「五夢りん」が様々な取組に登場し、子どもたちの豊かな学びを応援<ul style="list-style-type: none">・「五夢りん」の持つ5つのパワーを子どもたちが意識することで、規範意識や学習に対して良い効果が生まれた。また、五夢りんが、様々なイベントに登場することで、学校・家庭・地域をつなぐ役割も果たしている。○地域と学校が双方向に関わり合い、地域に誇りを持つ子どもの育成<ul style="list-style-type: none">・地域の方が、学校の教育活動に多岐にわたって関わっている。また、子どもたちが、市や地域の行事に積極的に参加をしている。その関わりの中で、地域に誇りを持つ子どもたちが育まれている。
県立榛生昇陽 高等学校	<ul style="list-style-type: none">○全国で唯一の高校単独での受賞<ul style="list-style-type: none">・年間の取組は、大きなものだけで30を超えている。生徒は、「地域の応援団」として位置づけた活動を行い、市内全体にその活動の輪が広がり、町ぐるみで学校を応援しようとする気運の高まりがある。○学校と地域双方がwin-winの関係になるような活動を推進<ul style="list-style-type: none">・高校生が、地域の要望と直結できる様々なボランティアを展開している。その中で、生徒が地域から学び、地域が学校に愛着を持ち、それぞれが共生し、活性化する取組を行っている。

★ 奈良市からは、**平城西中学校区地域教育協議会**も表彰されます。奈良市は中核市のため、当団体は、奈良市教育委員会から推薦され、表彰が決定しました。

2 表彰式

平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

日時 平成28年12月8日(木) 14:10～17:00
会場 文部科学省東館3階講堂 東京都千代田区霞が関3-2-2